

私たちの活動や意見を仲間で共有します。  
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2021年1月15日 第347号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

## 2021年幕開け

### コロナ禍で浮き出た日本の政治・社会の欠陥

# 今年こそ自公政治との決別の年に

## 核禁条約発効の記念すべき年を、平和への飛躍の年に



コロナ禍に対する菅政権の無策・右往左往ぶりに国民の怒りが燃え上がる中で、2021年の幕があきました。

医療、雇用、生業(なりわい)の破壊が深刻の度を深め、さらに青年・学生の将来の夢まで脅かされるという惨事です。茨城県、土浦地域にもじわじわと感染が広がりつつあり“緊急事態宣言”が取りざたされるに至っています。

“自助”を軽視するものではありませんが、ここは“公助”の出番であるにもかかわらず、菅政権はことごとく後ろ向きです。

土浦平和の会は、今年も平和を求める地域の各団体・個人の皆さんと力を合わせ、コロナ禍

で痛めつけられている暮らしを守る取り組みとともに、世界と日本の平和を守り抜くために挑んでいく覚悟です。

とりわけ今年には核兵器禁止条約がいよいよ発効となり、このニュース(347号)が皆さんのお手元に届く頃には、世界各地で大きな“歓び”の声が上がっていることでしょう。

“平和への飛躍”のスタート台に立ったとの気概をもってお互いに励まし合い前進しましょう。  
(土浦平和の会理事会)

今年もしっかり続けます

## 「戦争への道ノー！」土浦行動

「コロナ禍中でも絶やさない」の決意で取り組んできた土浦憲法共同センターの街頭アピール・スタンディング。昨年の締めくくりは12月18日、そして今年のスタートは1月17日(ケーズデンキ真鍋店前10:00～10:30)です。道行く人が足を止め、車は「何か」と減速してながめていきます。

30分行動、楽しく会話(世間話?)しながらの充実したひとときです。ぜひご参加ください。(上の写真は昨年の行動風景)



## 祝・核禁条約発効 日本政府はただちに批准を！

### 全国各地で行動、土浦でも

1月22日は人類にとっての歴史的な日となります。核兵器の製造、保有、使用などを全面的に禁じる核兵器禁止条約がいよいよ発効となります。当日は、全国各地で条約の発効を歓迎し核兵器廃絶におけ、広く市民へのアピール行動等が予定されています。

土浦地域でも新婦人が当日スタンディングを予定しています。土浦平和の会もこの行動に賛同し、皆さんに参加・協力を呼びかけます。

日時：1月22日(金)午前11時～12時

場所：ケーズデンキ真鍋店前

## 原発は大量の放射能放出装置

茨城県原発を考える会の定期発行ニュース225号は上記の見出しで原発が年間を通じて大量の放射能を放出して海を汚染していることに警告を発しています。

昨年9月県議会において共産党議員の質問に対して「東海第2原発は、運転停止中の現在のトリチウム排出量は年間47億ベクレルで運転中は8千6百億ベクレルだった」と答弁しました。県は「基準値以下なので安全」と説明している。

ここで重要な問題は普段から原発が大量の放射能を排出している事実だとしています。

つまり年間8千6百億ベクレルということは1日あたりに換算して23.6億ベクレルです。これだけ大量の放射能を海中に放出しているわけです。「大量の海水で希釈しているから、国の基準を下回っており問題ない」と言っているわけです。

「海洋放出された放射性物質はどこへ行くのか。プランクトンや海藻に付着し、魚介類に取り込まれ、蓄積していきます。やがて、それは人体に入ります。原発関係者は安全と言っているが、海を汚染していることは事実です。」と警告しています。

げんぱつ茨城一住民運動ニュースから転載

## 「民主主義のすぐ隣に ファシズムはある」

歴史の証言者 半藤一利さん死去

戦前戦中の昭和史に光りを当てた作家の半藤一利（はんどう・かずとし）さん(90歳)が亡くなった。

1/14付「朝日」では次のような評伝を掲載した。（ごく一部を抜粋）

「昭和史を伝え続けた根底には14歳当時の空襲体験があった。なぜこんなことが起きたのか。無謀な戦争に突き進み多くの犠牲を生んだ日本近現代史の解明と、記憶の継承を生涯の原動力とした。作家としては、妻の祖父にあたる夏目漱石についてのエッセーが出世作。憲法9条がもたらした戦後の平和を高く評価していた。」

さらに同日の「朝日」天声人語では

歴史を現代に結びつけて考える人でもあった。日本で権力が一点に集中していくのを憂い、対談で「民主主義のすぐ隣にファシズムはある、そのことを国民はしっかりと意識しなければならない」

との言葉を紹介している。

## 30周年「記念ボールペン」

赤軸・緑軸2本セット

2本セットで500円（インクは両方とも黒）

「茨城県平和委員会 30周年記念  
2020年12月」の銘入り

希望者はお声かけください。

## 今年も「百里初午まつり」

2月11日(木) 正午～

(11時から模擬店・歌声)

会場：百里平和公園

主催：百里基地反対同盟

共催：百里基地反対連絡協議会

新型コロナウイルス対策を徹底しながら、今年も「百里初午まつり」を実施します。

・記念式典・リレートーク・みんなであうたおうetc.

## 意見広告へのご協力

## ありがとうございました

### 新聞意見広告賛同の報告と御礼

おかげさまで、今年も茨城平和委員会の新聞意見広告が12月5日付「朝日新聞」茨城版に掲載することが出来ました。

土浦平和の会では個人78名・83口、団体30口の賛同を頂きました。昨年の71名・81口団体3口を上回りました。県全体でも個人1500口以上、団体とも昨年を上回りました。

ご協力にあらためて御礼申し上げます。

なお、意見広告及び賛同者名のコピーは後日お届けいたします。

土浦平和の会 事務局

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」（毎月5、15、25日発行）：月額520円(送料含)

